PHONE APPLIの働き方改革・オフィス設計にも共感！新本社を“社員が集うオフィス”に

東急不動産ホールディングス株式会社

業種	不動産
従業員数	22,953名（連結）
ご担当者	グループIT戦略部 ITインフラ企画グループ 課長 鈴木篤氏 グループIT戦略部 ITインフラ企画グループ 工藤啓太氏 グループIT戦略部 ITインフラ企画グループ 岩浅英生氏 業務改革推進グループ シニアITスペシャリスト 小平直樹氏

課題・背景	効果
本社移転を機にオフィスを部署単位でフリーアドレス化	電話をかけたい相手の連絡先や所属を簡単に検索可能
従来の内線簿アプリは、連絡先情報を最新の状態に保つのが困難だった	電話帳をクラウド管理することで、最新の連絡先情報を保持
複数のSaaSアプリケーションのデータ連携が必要	データ更新の仕組みがわかりやすく、運用負荷を軽減

2019年8月に「渋谷ソラスタ」へと本社オフィスを移転した東急不動産ホールディングス（以下、東急不動産HD）。この新オフィスでは、「緑あふれる広々とした空間で、従業員一人ひとりが、それぞれのワークスタイルに合わせて自由に働く」という先進的な働き方が実践されている。

PHONE APPLIのオフィスと働き方に共感

今回の本社移転プロジェクトを進めるうえで、東急不動産HDは働き方改革に取り組む複数の企業を見学した。なかでも「非常に刺激を受けた」と振り返るのが、PHONE APPLIの働き方だった。「働き方改革に取り組む企業は多いが、やりたいことを具体的なツールに落とし込むところまでできているところはそれほど多くない。PHONE APPLIはそこが最も作りこまれていた」と振り返る。

コミュニケーションポータルに「PHONE APPLI PEOPLE」（旧：連絡とれるくん）を採用

東急不動産HDは旧オフィスで、独自開発した内線簿アプリを利用していたが、ある課題を抱えていたという。同社はiPhoneを内線電話としても使っているが、従来の内線簿アプリはクラウド上で管理する連絡先データをiPhoneにダウンロードして保存する仕組みだったため、連絡先情報を最新の状態に保つのが難しかった。こうした課題を解決することに加えて、移転後の新オフィスはフリーアドレス制となるため、従来にも増して電話をかけたい相手の連絡先や所属を簡単に検索できるようにする必要があった。そこで、「場所にとらわれない働き方を推進するため、従業員同士がストレスなくスムーズに連絡を取れるようにする」ことを目的に「PHONE APPLI PEOPLE」（旧：連絡とれるくん）を採用。同じ会社内の社員はもちろん、グループ会社間で密に連絡を取り合うことも多く、グループ共通のコミュニケーションポータルとして利用されているという。電話の発信時・着信時ともにクラウド上で管理する連絡先データベースを参照して情報を表示するため、以前のように古いデータが表示されるといったトラブルはなくなった。

運用管理者にも「やさしい」設計

このように社員の利便性向上に貢献する一方で、社内システムの運用や社員のサポートを行う運用担当者は「インターフェースも仕組みそのものもわかりやすい。データ更新の仕組みがわかりやすく、この手のシステムにありがちな文字コードや文字数等の制約も少ない。柔軟に使えるようにできており、運用担当者にとって“やさしい”」と評価する。

Web 電話帳クラウドサービス

PHONE APPLI PEOPLE （旧：連絡とれるくん）

人の価値を高め、生産性を向上させる“人”中心のクラウドサービスです。
キーワードやスキルで社内の専門家を、名刺データからお客様を簡単に探しだし、最適なコミュニケーション（チャット、メール、電話、Web会議）がとれ、コラボレーションを活性化させます。大手企業を中心に150万ライセンス活用されています。

※出典：MM総研「Web 統合電話帳アプリケーションの市場規模調査」（2020年7月）

フォンアプリ

https://phoneappli.net/product/service/papeople/